

2025年度インフラ・プラットフォームWG活動方針 (高度無線利活用検討TF活動方向性)

2025年4月1日
一般財団法人全国地域情報化推進協会
ICT利用地域イノベーション委員会
インフラ・プラットフォームワーキング
高度無線技術利活用タスクフォース

■ スマート農業／ICT普及を阻害する主要な阻害要因の明確化

1. 農業従事者の二類型

- ① 経営者型農業事業者 → 生産・経営データ蓄積不足
- ② 旧来型農業生産者 → コスト意識希薄、現状維持

2. 市場構造の課題

- ① 生産量増加が単価減少を招く ⇒ サプライチェーン再構築または高付加価値化が必要
- ② 市況依存型の価格決定構造(生産者に価格決定権無し) ⇒ 「博打産業」からの脱却が必要

■ 民間法人の自己投資事例ヒアリング

スマート農業の成功事例分析を通じ、収益性向上のポイント抽出

1. 農業形態の多様性を考慮した分析

- ⇒ 屋内型(植物工場)／屋外(大規模)／屋外(小規模)に3分類
- ⇒ 大規模事業者と小規模事業者間の課題の差異明確化

2. 異業種参入の植物工場の経営に難しさがあることが判明

- ⇒ (例) 土地固定資産税負担の差異(農地・非農地)、営農ナレッジ習得、出荷額変動

■ 儲かる農業の可能性検討→未着手

2025年度活動の方向性

■ スマート農業市場拡大に向けた調査・施策検討

1.屋内および大規模事業者へのアプローチ

- ①ソリューションカタログ整理(農水省カタログ活用)
- ②NW・電源未整備地域の支援策検討(リスト化・ヒアリング、農水省・総務省と連携)

2.旧来型生産者から経営者型事業者へのシフト促進

- ①対象層のニーズ・課題の把握
- ②「投資意欲」を高めるためのメリット訴求や成功事例の提示
- ③NW・電源未整備地域への支援活動(同上)

3.小規模生産者への面的アプローチ策の検討

- ①サプライチェーン(川下側)の巻き込み(例:JA、流通系(イオン)、メーカー(カルビー)等との連携)
- ②デジタルツールを活用した小規模農家向け収益改善ソリューションの検討

4.異業種参入に係る課題の把握

- ①異業種参入の課題・参入障壁となる要素の把握
- ②参入促進のための施策提案

■ 三重大学 共創の場形成支援プログラムへの知見／情報共有

■ 農林水産省 スマート農業イノベーション推進会議への情報共有



一般財団法人 全国地域情報化推進協会